

QBICプログラム 2025年度スケジュール

※実施日程が変更になる場合があります。プログラムや事前説明会の詳細は、各大学のシラバス等で確認をしてください。



2025年度
受講生募集

“解”のない時代



01 Step-up プログラム	問いの創出		主な対象: 1~2年次
	大阪公立大学	大阪大学	
事前説明会 会場・時間等は申込時ご案内	9月26日(金)、10月1日(水)	9月2日(火)、9月30日(火)	
科目名	キャリアと実践1	キャリアデザインと社会実装I	
第1回目	10月11日(土)	10月25日(土)	
第2回目	11月15日(土)	11月29日(土)	
第3回目	12月23日(火)	12月20日(土)	
第4回目	2月6日(金)	2月9日(月)	
第5回目	2月7日(土) 午前		
2月7日(土) 午後 交流プログラム実施			
無印=10時~17時30分 午前=9時30分~12時30分 午後=14時~17時			

02 Jump-up プログラム	問いの実践			主な対象: 2~3年次
	大阪公立大学	大阪大学	関西大学 (2025年度から新規開講)	new!
事前説明会 会場・時間等は申込時ご案内	4月4日(金)、4月10日(木)	3月3日(月)、4月8日(火)	4月4日(金)、4月10日(木)	
科目名	キャリアと実践2	キャリアデザインと社会実装II	キャリア形成と社会実践	
第1回目	4月19日(土) ※全日 会場:大阪公立大学 I-site なんば			
第2回目	5月17日(土) ※全日 会場:関西大学 梅田キャンパス KANDAI Me RISE			
第3回目	6月14日(土) ※全日 会場:大阪公立大学 I-site なんば			
第4回目	7月12日(土) ※全日 会場:大阪大学 中之島センター			
全日=9時30分~17時30分				

プログラム問い合わせ先

大阪公立大学 ▶国際基幹教育機構/市田(いちだ) h.ichida@omu.ac.jp
 大阪大学 ▶キャリアセンター/家島(いえしま) ieshima@career.osaka-u.ac.jp
 関西大学 ▶社会学部/杉本(すぎもと) h_sgmt@kansai-u.ac.jp

授業アンケートより

- | | | |
|--|--|--|
| <p>Q 授業を受けたことで感じる成長を教えてください!</p> <p>A 自己分析を通じてプレゼン力が向上し、チームの中で自分の強みを活かせるようになった。</p> <p>A 多様な視点から問いを深める思考力と、相手に応じて効果的に伝えるコミュニケーション力が身についた。</p> | <p>Q メンターから学んだことを教えてください!</p> <p>A 社会で活躍するために必要な、学び続ける姿勢と変化への適応力。</p> <p>A 机上の理論だけでなく、実現可能性を考慮した具体的な提案の作り方。</p> | <p>Q 授業全体の感想は?</p> <p>A 社会人との対話と実践的な課題を通じて、将来のキャリアイメージを具体化できた。</p> <p>A 正解のない問題にチームで挑戦し、実践的な問題解決の方法を学ぶことができた。</p> |
|--|--|--|

※これまでの「キャリアと実践-問いの創出-」「キャリアと実践2-問いの実践-」の取り組みから



本事業は、三菱みらい育成財団 大学・NPO等が行う「21世紀型教養教育プログラム」カテゴリ 4助成事業(2023年度採択)の助成を受けて実施しています。

転換期の社会に求められる力を培うための
産学連繋型教育プログラム: QBIC (キュービック)
Question-Based Innovation and Career education program for societal transition



2025年度 受講生募集

転換期の社会に求められる力を培うための
産学連繋型教育プログラム:



Question-Based Innovation and Career education program for societal transition (キュービック)

解
の
ない
時代

「問いを立てる力」と「学び続ける力」を伸ばす

『キャリアと実践』



失敗すること、
考え直すことの
大切さを学べる場所

終わった後の
達成感が半端ない

この授業を
ひとことで
表現すると!

新たに成長した自分と仲
間に会える授業です!
新しいことに挑戦した
い!自分の得意なところ
を見つけたい!一緒に頑
張る仲間に出会いたい!
そんな人にとってびっ
たりの授業です。きっと
受講後は実りのある時
間であつたと胸を張って
言えると思います!

「本気」全員が本気で取
り組んでいて、本気だ
からこそ生まれるもの
がありました。迷ってい
るなら是非受講して
みてください。きっと
自分の中で何かが変わ
るはずです。

「問う」という
ことへの入り口

自由と成長

先輩受講生からの
おすすめポイント!

自分で作る
ジェットコースター

烏兔匆匆

この授業を受講するには
それなりの覚悟がある
と思います。どのような
覚悟だとしても、主体
的に学んでいくという
姿勢がとても大切です。
少しでも迷っているの
ならば、一歩踏み出
して受講してみてください!
この授業でしか得られ
ない経験がたくさんあ
ります。

学部・学年更には大学
を超えてグループワー
クをしていくので、本
当に様々な意見を得
ることができます。大
学生になって、まだ
主体的・能動的な事
ができていない人に
こそオススメな授業
です!

しんどいけど、
きっと成長できる!

超忙しいけど
ハイリターン

他ではできない体験
を通して自分の内面
に変化を起こせます。
社会人を疑似的に
体験することで大学
で学ぶ意味を考え
直すきっかけにも
なりました。

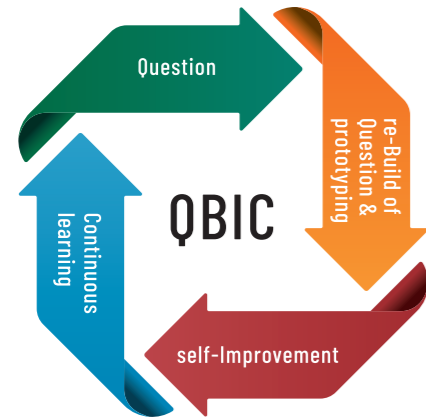
最後までやり遂げ
てこそこの授業



転換期の社会に求められる力を培うための
産学連携型教育プログラム：QBIC (キュービック)
Question-Based Innovation and Career education program for societal transition



「問いを立てる力」と「学び続ける力」



Question

多様なミカタ/多面的な捉え方による「問い」の創出

re-Build of Question & prototyping

「問い」の実践によって「解のない」時代への向き合い方を学ぶ

self-Improvement

変化に挑戦する姿勢と自信を身に付ける

Continuous learning

転換期の社会に必要な教養力を学びあうことで培う

解のない時代と言われるほど、予測困難であり前例が通用しない転換期を迎えた現代社会。これまでの連続的な成長感を求める思考ではなく、突然訪れる不連続な社会にも対応していくための思考が必要になります。そのためには、何が問題なのかを深く思考するための「問いを立てる力(問題発見/設定力)」と、自身の学びによって不連続性を繋げて行くことを志向した「学び続ける力」が求められます。

これらの力を培うためにQBICプログラムでは、「産」と「学」が連繋したリベラルアーツ教育とキャリア教育が融合した2つのプログラムを実践し、リベラルアーツに支えられた思考力と自らのキャリア観にもとづくこれからの時代の教養力を醸成します。

01 Step-up プログラム 自らの視点で社会の中の問題を再定義(問題発見)する 問いの創出

自らが生きる未来社会を描きつつ、現代の社会問題に対してチーム内での徹底的な議論を行うことで、多様な視点から「問いを立てる」ことを目標に、これからの時代の教養力を身につけるためのプログラム。良い「問い」は良い「学び」から生まれることを学ぶ。

実施科目

大阪公立大学 「キャリアと実践」
(総合教養科目、キャリアデザイン科目)
配当年次：1~2年次、後期集中

大阪大学 「キャリアデザインと社会実装Ⅰ」
(全学共通教育科目 アドヴァンスト・セミナー)
後期集中

02 Jump-up プログラム 他者との学びあいを中心に「問い」を社会に対して実践する 問いの実践

事例分析を土台にSDGsなどの社会問題に対する自ら(チーム)のミカタで解像度を上げていくことで、社会において必要とされる「問い」と課題解決策を実践ベースで考え抜くプログラム。良い課題解決策は、良い「問い」から導かれることを学ぶ。

実施科目

大阪公立大学 「キャリアと実践2」
(総合教養科目、キャリアデザイン科目)
配当年次：2~3年次、前期集中

大阪大学 「キャリアデザインと社会実装Ⅱ」
(全学共通教育科目 アドヴァンスト・セミナー)
前期集中

関西大学 「キャリア形成と社会実践」
(共通教養科目 自己形成科目群 チャレンジ科目)
春学期集中

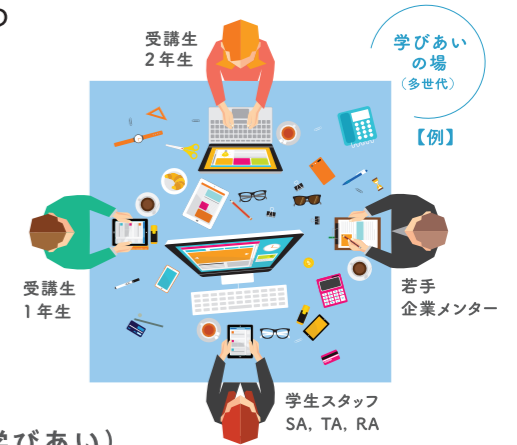
4つの観点から、未来社会に対応するための教養力を醸成していくことを目的に、「問いを立てる力」「学び続ける力」を育成していきます。



「問いを立てる力」(「問い立て」にむけた教養力の育成)

これからの社会において必要とされる良いソリューションは良い「問い」から導かれることに鑑み、プログラム全体では4つのプロセスを実践することで、これらの社会において必要な力を培います。この一連の過程を通して、これからの社会において必要となる「問い」を研ぎ澄ましていくことに挑戦します。

- 1 教員や社会人メンターによる支援と分野を超えた学生同士の対話により問題の切り口に対する多様なミカタを獲得する
- 2 キャリア観から導かれる未来のビジョンを描く
- 3 リサーチクエスチョン(仮説)を立てる
- 4 未来社会に向けた「問い」を設定する



「学び続ける力」(共創による学びあい)

産学連携により、世代や立場が多様なメンバーで構成される学びを実践する場を共創します。受講生、学生スタッフ、教員、社会人など、立場が異なる様々なメンバーが参画することで普段の授業では交わらない他者と切磋琢磨し世代を超えた学び合いから「学び続ける力」を醸成していきます。



QBICプログラムは、多様なメンバーによる学び合いの場を形成(共創)し、各自の成長を重視しながら世代間の学びの循環を目指しています。大学1~2年次生にとって、このプログラムは高校から大学、社会への学びの転換点となり、一貫した学びを通じて「学び続ける力」を育むことを期待しています。また、多様なメンバーが集まり、社会問題に対して多角的な視点から未来を考え、共創の場を形成することも重要な目的です。



2024年度QBICプログラム成果動画



前年度ワークショップの様子。産学連携による循環する学びの場を形成した。

QBICプログラム 2025年度スケジュール

※実施日程が変更になる場合があります。プログラムや事前説明会の詳細は、シラバス等で確認してください。

自らの視点で社会の中の問題を再定義（問題発見）する

他者との学びあいを中心に「問い」を社会に対して実践する

01

問いの創出

主な対象：1～2年次

Step-up
プログラム

科目名

キャリアと実践1

事前説明会
会場 時間等は申込時ご案内

9月26日(金)、10月1日(水)

第1回目	10月11日(土)
第2回目	11月15日(土)
第3回目	12月23日(火)
第4回目	2月6日(金)
第5回目	2月7日(土) 午前

2月7日(土) 午後

大阪大学と関西大学との交流プログラム実施

無印 = 10時～17時30分 午前 = 9時30分～12時30分 午後 = 14時～17時

02

問いの実践

主な対象：2～3年次

Jump-up
プログラム

科目名

キャリアと実践2

大阪大学と関西大学との協働開講、合同チームを形成します。

事前説明会
会場 時間等は申込時ご案内

4月4日(金)、4月10日(木)

第1回目	4月19日(土) 全日
第2回目	5月17日(土) 全日
第3回目	6月14日(土) 全日
第4回目	7月12日(土) 全日

全日 = 9時30分～17時30分
実施会場は、シラバス等で確認して下さい。



授業アンケートより

Q

授業を受けたことで感じる成長を教えてください！

A

自己分析を通じてプレゼン力が向上し、チームの中で自分の強みを活かせるようになった。

A

多様な視点から問いを深める思考力と、相手に応じて効果的に伝えるコミュニケーション力が身についた。

A

正解のない問題に粘り強く向き合い、本質を見極める思考力が身についた。

Q

授業を終えての満足度は？

A

社会の問題を再定義し、課題を見つけ、仲間と一緒に解決策を考え実践することで、新しい価値を生み出す経験ができ満足している。

A

毎週の発表とフィードバックを通じて、確実に成長している実感が得られたので受講してよかった。

Q

メンターから学んだことを教えてください！

A

失敗を恐れないチャレンジ精神の大切さ。

A

机上の理論だけでなく、実現可能性を考慮した具体的な提案の作り方。

A

社会で活躍するために必要な、学び続ける姿勢と変化への適応力。

Q

授業全体の感想は？

A

実践的な課題に取り組み、社会で必要とされるスキルと心構えを実感を持って学べた。

A

大変な課題にチームで取り組むことで、多様な視点と新しい可能性に気づくことができた。

Q

授業で印象に残っていることは？

A

漠然とした問題から具体的な解決策まで、チームで考えを深めていく過程を経験できた。

A

企業メンターとの対話で、問題の本質を考える大切さと、新しい視点の重要性を学ぶことができた。

A

半年間の努力が実を結び、チーム全員で最高の発表ができた時の喜び。

A

社会人との対話と実践的な課題を通じて、将来のキャリアイメージを具体化できた。

A

正解のない問題にチームで挑戦し、実践的な問題解決の方法を学ぶことができた。

A

将来を考える上で重要な気づきが得られ、実践的な学びの価値を実感できた。

※これまでの「キャリアと実践～問いの創出～」「キャリアと実践2～問いの実践～」の取り組みから

プログラム問い合わせ先

大阪公立大学 国際基幹教育機構/市田 (いちだ) h.ichida@omu.ac.jp



本事業は、三菱みらい育成財団 大学・NPO等が行う「21世紀型教養教育プログラム」カテゴリ 4助成事業（2023年度採択）の助成を受けて実施しています。